

仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

BUTSUJI-COORDINATOR

森田石材店（兵庫県丹波市・加東市・篠山市）

「スキルアップや人材育成に資格が
役立っています」

萩原佳織氏

森田石材店は兵庫県内北播エリアに四店舗（山南本店・滝野店・篠山店・ひかみ店）を展開、創業九十五年の歴史があり、同エリアで最もお墓の建立実績を持つ。現社長の森田茂樹氏は三代目、墓石の設計・製作・施行・販売を中心に、仏壇・仏具の販売、葬祭業も行い、きめの細かい丁寧なサービスは多くの人々から親しまれてきた。葬祭についてははもみじ市民ホール（同社所有の専用ホール）があり、家族葬から大規模葬まで行える施設

で、すでに多くの人が利用。仏壇仏具については三店舗で展示販売を行っているが、仏壇仏具の展示を始めたのは五年前、お客様から仏壇を求める声もあり、仏壇仏具のみを購入するお客様も時々ある。



萩原佳織氏（森田石材店）

また、小物類（線香・ローソク・念珠・位牌・仏像他）もあり、近隣の市町村からのお客様も増えている。

また、資格取得についても積極的に仏事コーディネーター（五名・平成二十六年十月現在）、お墓ディレクター一級（四名）、お墓ディレクター二級（十一名）をはじめ、複数の資格を持つスタッフも少なくない。資格の活用については、名刺やパンフレットの印刷、ホームページ内の紹介など多岐にわたる。

今回、取材に御協力頂いた萩原佳織氏は滝野店のスタッフ、兵庫県出身、高校卒業後、食品関係や生命保険などの仕事を経験、同社に転職したのはハローワークの求人案内で見つけたのがきっかけ。仏壇仏具の業界は全く未知の分野であった



店舗外観（森田石材店・滝野店）

が、心ひかれるものがあったという。入社が決まったときには両親がいへん喜んでくれたという。仏事コーディネーター資格は入社した時から受験を考えていたと話す。受験前は、自宅や職場など時間を見つけて、ガイダンスで学習、過去に出題された試験問題に取り組んだ。特にグループ学習は行わなかったが、社内の資格取得者からアドバイスを受けるなど、綿密な学習を心がけた。受験当日は社内から六名がチャレンジ、グループで行かずに現地集合で受験に臨んだ。

資格取得後は、接客の際にお客様から「よく知っていますね」と言われたことがあったという。そのときに仏事コーディネーター資格について紹介、説明をしたところ、お客様の好反応が感



唐木仏壇の展示（森田石材店・滝野店）

じられたという。萩原氏は販売・接客よりむしろ事務の仕事が多いが、資格取得は大変役に立っていると話す。仏事コーディネーター資格はスキルアップ、人材育成、教育などあらゆる面で効果を発揮している。

い。仏壇公正取引協議会にも加盟しており、原産国表示、品質表示も明確。地元の新聞チラシにお盆、お彼岸の前には仏壇仏具のみのチラシや、墓石と仏壇両方掲載したチラシを投入しPRを強化。



墓石の展示（森田石材店・滝野店）

と、ところで滝野店はショールームのスペースが同社で最も広く、墓石、仏壇とも展示数が最も多

古くからのお客様はもちろん、新規顧客の創造など、今後も市場の拡大に向けて前進を続ける。